

月	配 当	単元・学習内容		評価規準（到達目標）	観点別評価			評価方法
		年 度 始 休 業			ア	イ	ウ	
		1 Lesson 1						
4	5	11	会話文：初対面・学校の紹介	初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する会話文を理解する	○		○	音読活動 小テスト
		12	文法：様々な疑問文・命令文・感嘆文	様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答することができる	○		○	小テスト
		13	文法：節の理解	単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現することができる	○		○	小テスト
		14	機能：日課について尋ねあう	話す[やり取り] 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。	○	○	○	ペアワーク活動
		15	表現：クラブ活動を紹介	書く・話す[発表]：自分やパートナーのクラブ活動を紹介できる。		○	○	英作文課題 発表活動
		2 Lesson 2						
5	5	21	会話文：学校生活におけるやり取り	学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		22	文法：5文型・There be 構文	5つの文型とThere isの構文を理解し、文を組み立てることができる。また、注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができる。	○			小テスト
		23	機能：賛成・反対 / 聞き直しの表現	話す[やり取り]：賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる	○	○	○	ペアワーク活動
		24	表現：時系列で予定を述べる	話す[やりとり]・書く：文化祭に行く予定について話し合い、話し合ったことを英文で書く		○	○	ペアワーク活動 英作文課題
		3 Lesson 3						
6	5	31	会話文：旅行の予定	旅行・観光：旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		32	文法：基本時制	基本時制を理解と運用ができる。	○		○	小テスト・課題提出
		33	機能：激励／計画の表現	話す[やり取り]：相手を励ます気持ちを伝えたり、計画・予定について伝え合うことができる。	○	○	○	ペアワーク活動
		34	表現：旅行の経験について	話す[やりとり]・書く：お互いの旅行の経験について話し合い、自分と相手の経験について書いてまとめることができる。		○	○	ペアワーク活動 英作文課題
6	1	前 期 中 間 考 査						
		4 Lesson 4						
6	5	41	会話文：趣味や関心について	趣味・関心：その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		42	文法：完了形	他の時制との区別と完了形概念を理解し、運用できる。	○	○	○	小テスト・課題提出
		43	機能：経験を尋ねる	経験用法を使って、尋ねたり、伝えたりすることができる。	○		○	ペアワーク活動
		44	表現：経験を伝える	書く：スポーツや音楽の経験について、考えや気持ち、具体例を挙げて書くことができる。□		○	○	英作文課題提出
		45	表現：経験を伝える	話す[発表]：スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる□		○	○	発表活動
		5 Lesson 5						
7	5	51	会話文：将来・進路について	将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		52	文法：助動詞	助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けることができる	○	○	○	小テスト・課題提出
		53	機能：許可・依頼・義務・必要・回想・自省	相手に許可を求めたり、依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省することができる。	○		○	ペアワーク活動
		54	表現：将来の夢	話す[やり取り]将来の夢について伝え合うことができる		○	○	英作文課題提出
		55	表現：気持ちを伝える	[書く]自分の将来や夢について、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。		○	○	発表活動

		夏 季 休 業						
8 9 5	9 1	6 Lesson 6						
		61	会話文：日常生活	日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。	○		○	音読活動
		62	文法：受動態	受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。	○	○	○	小テスト・課題提出
		63	機能：原因・影響／喜び・驚き	様々な表現を用いて、原因や影響について表現することができる。また、喜びや驚きの感情を表すことができる。	○		○	ペアワーク活動
		64	表現：日常生活	話す[やりとり]家事手伝いについて、先週の週末に行ったことについて話すことができる。		○	○	グループワーク活動
9 5	1	前 期 期 末 考 査						
		7 Lesson 7						
		71	会話文：交流・交際	誕生日会で友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		72	文法：不定詞	不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。	○	○	○	小テスト・課題提出
		73	機能：感謝・謝罪・弁解	感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。	○		○	ペアワーク活動
10 6	1	74	表現：手紙を書く	[書く]受け取った贈り物について詳細に伝えることができる		○	○	英作文課題
		8 Lesson 8						
		81	会話文：スポーツと健康	スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。	○		○	音読活動
		82	文法：動名詞	動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる	○		○	小テスト 課題提出
		83	機能：誘い・申し出／推薦	相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。	○	○	○	ペアワーク活動
11 6	1	84	表現：スポーツの利点について	話す[発表]：スポーツをすることの利点について発表することができる。		○	○	発表活動
		85	表現：スポーツの利点について	[書く]得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。		○	○	英作文課題
		後 期 中 間 考 査						
		10 Lesson 10						
		101	会話文：文化・異文化理解	日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる会話表現を学ぶ。	○		○	音読活動
11 5	12	102	文法：関係詞	関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。	○		○	小テスト 課題提出
		103	機能：定義、言い換え、結果	人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。	○		○	ペアワーク活動
		103	表現：日本の文化紹介	話す[発表] 日本、北海道、地域の文化や人たちについてミニプレゼンテーションをする。		○	○	発表活動
		104	表現：日本の文化紹介	書く：プレゼンテーションの内容をエッセイ形式に書き直す。		○	○	英作文課題
		9 Lesson 9						
12		91	会話文：メディア・コミュニケーション	メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。	○		○	音読活動
		92	文法：分詞	後置修飾用法や分詞構文、付帯状況構文を理解し、運用することができる。	○		○	小テスト 課題提出
		93	機能：描写・判断の根拠	人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。	○	○	○	ペアワーク活動
		94	表現：性格	[書く]家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。		○	○	英作文課題

		冬 季 休 業				
		11 Lesson 11				
1	6	111 会話文:国際問題	フェアトレード（公正取引）について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。	○		○ 音読活動
		112 文法:比較	比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。	○		○ 小テスト 課題提出
		113 機能:提案・称賛	提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる。	○	○	○ ペアワーク活動
		114 表現:SDGsに関連して	話す[やり取り]:SDGsに基づいて国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。		○	○ グループ活動
		115 表現:SDGsに関連して	書く:社会の諸問題について、データを用いながらSDGsに基づいた解決に向けて自分の考えを提案するエッセイを書くことができる。		○	○ 英作文課題
		12 Lesson 12				
2	6	121 会話文:日本の社会問題	日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求める会話を学ぶ。	○		○ 音読活動
		122 文法:仮定法	仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。	○		○ 小テスト 課題提出
		123 機能:助言・願望	助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。また、願望を表し表現を使い自分の意志や要望を伝えることができる。	○	○	○ ペアワーク活動
		124 表現:過去や未来への仮定	書く:タイムマシンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。		○	○ 英作文課題
		後 期 期 末 考 査				
	2	1年間のまとめ				
	70					